

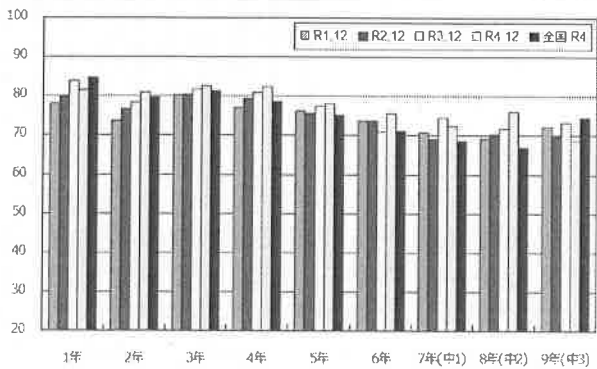
箕面学習状況調査・生活状況調査 〈概要〉

- 調査は箕面市の肯定率を全国平均値と比較
- 回答は、「そう思う」「少しそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つから選択
- 肯定率とは、選択肢の「そう思う」と「少しそう思う」の割合を単純に合計した値

【自己認識】 箕面っ子の自己肯定感は…

家族とのかかわり

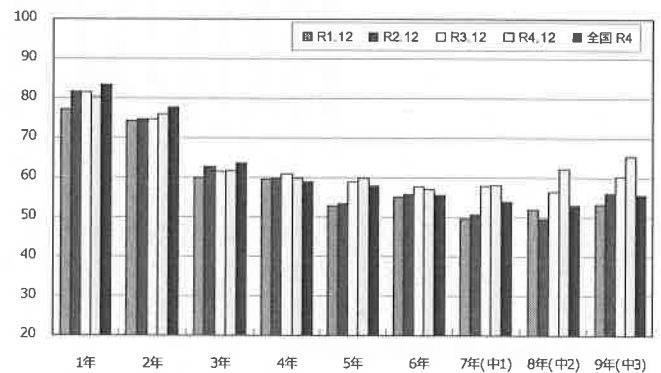
◆ 本当につらいことがあったとき、それを家の人のだれかに相談できますか。



安心して相談するでござる！

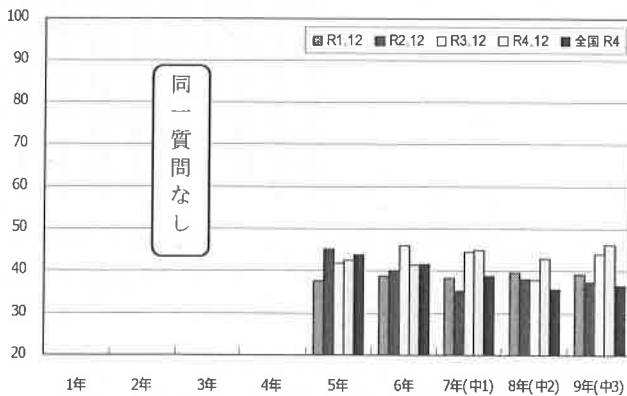
先生とのかかわり

◆ 本当につらいことがあったとき、それを学校の先生に相談できますか。

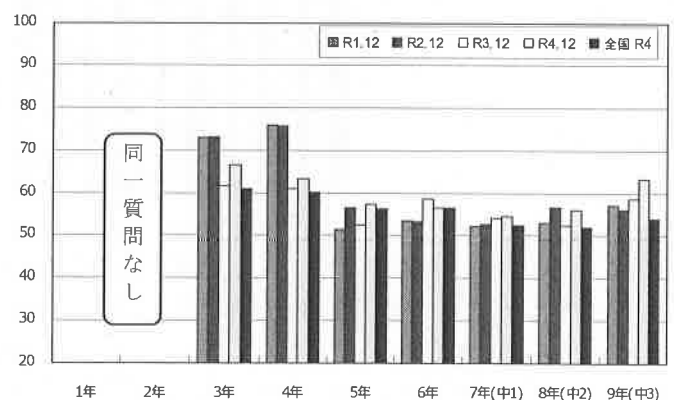


他者からの評価

◆ あなたの発言は、クラスのみんなを動かす力があると思いますか。



◆ 学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちからたよりにされているんだな、と感じることがありますか。



自己肯定感を「家族や先生とのかかわり」「他者からの評価」の2点から分析しました。

「家族や先生に相談できる」という割合は、ほとんどの学年が昨年度の肯定率より高くなっています。「先生に相談できる」と回答した割合は、小学校4年頃から全国平均値よりも高くなっていく傾向があり、中学生は令和2年から高くなっています。また、「自分にはクラスを動かす力がある」「期待されている、頼りにされている」と思っている子どもは、ほとんどの学年で全国平均値と比べると高く、中学生では、昨年度より高くなっていることが分かります。

自分の思ったことは、言葉にして伝えようね！

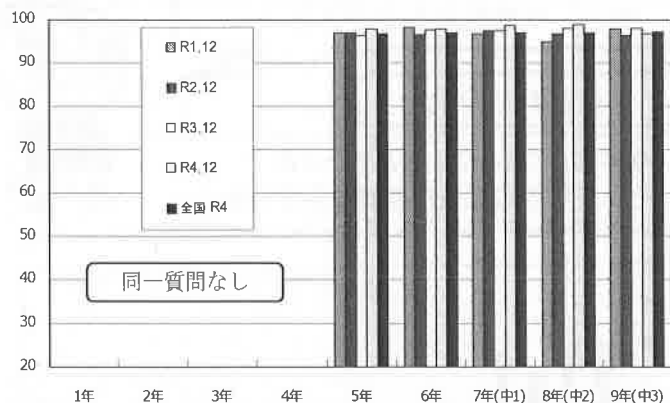


【対人ストレス】 いじめのサインは…

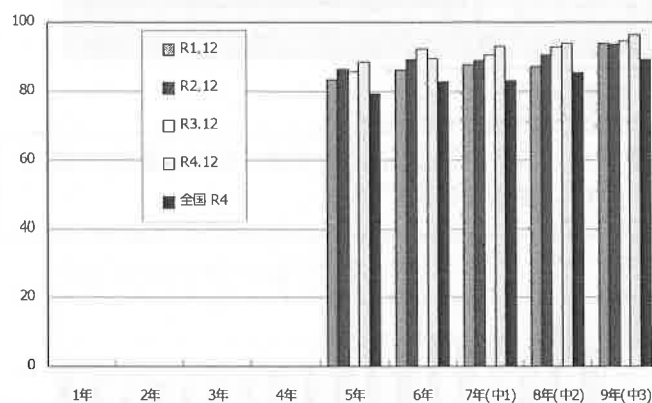
このグラフは、ポイントが高いほど良好なのでござる！



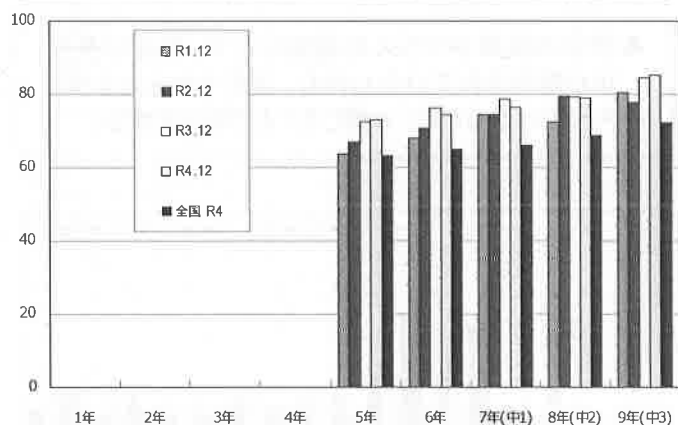
◆ SNS 上で仲間外れにされたり、ひどいことを書かれたりして、傷ついたことがありますか。
⇒「一度もない・前はあった」と回答した割合



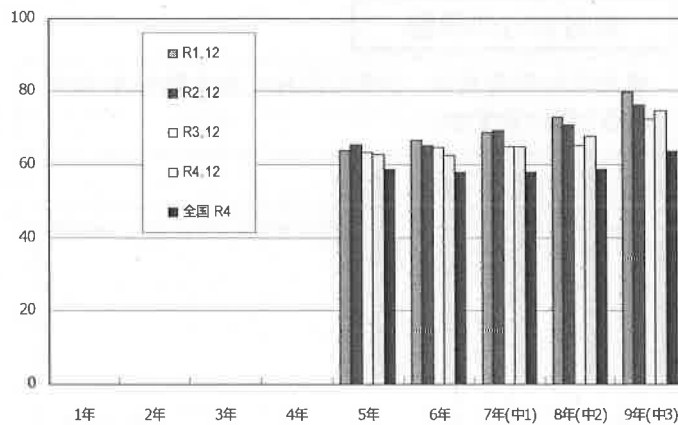
◆ 自分がいつ、いじめのターゲットになってしまうか、不安を感じることがありますか。
⇒「一度もない・前はあった」と回答した割合



◆ 信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか。⇒「一度もない・けんかはしても傷つくことはない」と回答した割合



◆ 仲のいい友だちでも、本音では自分のことを悪く思っているかもしれない、と不安に思うことがありますか。⇒「一度もない・前はあった」と回答した割合



SNS 上で、いじめにあったことがないと回答している子どもの割合が全国平均値と比べて高く推移しています。また、昨年度より肯定的な回答率が上がっている学年が多く、SNS 等ネットリテラシーの定着が見られます。「対人ストレス」を感じていない子どもの割合は、昨年度と同様に、全国平均値より高い結果がでています。特に、「自分がいつ、いじめのターゲットになってしまうか、不安を感じることがありますか」という質問では、全国平均値と比べて、不安に感じている割合が少なく、学年が上がるにつれて肯定的な回答率も上がる傾向にあります。いじめを生み出さない人間関係が構築されていることが伺えます。

「信じていた友だちから、つらい態度をとられて、傷ついた」「仲のいい友だちの本音が不安だ」という質問においては、全国平均値と比べ高く推移しているものの、2～3割ほどの児童生徒が否定的な回答をしており、仲の良い友だちとの人間関係において、時に傷ついたり不安を感じたりする経験をしていることがわかります。

子どもたちからのいじめのサインや SOS を見逃さないよう、学習支援ソフト「tomoLinks」に新たに追加された「こころの日記」機能等も活用しながら、継続して見守っていきます。

1人で悩まず、家族や先生、友だちに相談しようね！

